

荒川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

資料2-1
新旧比較表

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、荒川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和42年羽越水害と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化（浸透対策）等【羽越河国、新潟県、村上市】
- ・砂防関係施設の整備【飯豊砂防、新潟県】
- ・公共下水道雨水幹線の整備【村上市】
- ・既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築【羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力】
- ・田んぼダムの取組【新潟県、村上市、荒川土改】
- ・ため池の防災水管理【山形県、新潟県、村上市】
- ・森林整備対策（間伐、林道整備等）【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
- ・治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】

●被害対象を減少させるための対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【羽越河国】

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・避難体制の強化（ハザードマップ作成周知、マイタイムラインの普及促進、防災教育や防災知識の普及、要配慮者避難確保計画策定）
- ・土地の水災害リスク情報の充実（中小河川における浸水想定区域図作成）
- ・経済被害の軽減（排水計画検討等、林道整備の推進（災害発生時の通行確保））
- ・関係者と連携した早期復旧（災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供）

●グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ

●令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進（別紙）

「令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進（別紙）」の文言を追加。



※本図の浸水範囲は、大臣管理区間における荒川本川の氾濫によって生じる範囲を示しており、支川等他区間の氾濫による浸水範囲は含まれていません。

荒川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

資料2-1
新旧比較表

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●荒川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、利水ダム管理者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 浸水被害が最も大きい岩船駅周辺の浸水深軽減のための河道掘削を実施。（岩船駅周辺の小中学校の被害解消）

田んぼダムの取組、雨水幹線の整備等の流域における対策、住民の防災意識向上のための取組等のソフト対策を実施。

【中長期】 堤防強化対策として水衝部対策、浸透対策を実施。洪水時に流下阻害となる河口砂州対策の実施。

●令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進。（別紙）

●令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進。（別紙）の文言を追加

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	河道掘削	羽越河国		ロードマップ 「普通河川滝矢川改修（護岸整備）」のバーチャートを短期までにした。
	水衝部対策、堤防強化（浸透対策）			
	河口砂州、堤防整備、支川合流点対策			
	乙大日川改修（河道拡幅、堤防整備）	新潟県		
	普通河川滝矢川改修（護岸整備）	村上市		
	公共下水道雨水幹線の整備	村上市		
	砂防関係施設の整備	飯豊砂防、新潟県		
	既存ダムによる事前放流の実施	羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力		
	田んぼダムの取組	新潟県、村上市、荒川土改		
	ため池の防災水管理	山形県、新潟県、村上市		
	森林整備対策（間伐等、林道整備）	置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県		
	治山対策	置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県		
被害対象を減少させるための対策	多段階な浸水リスク情報の充実	羽越河国		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制の強化、土地の水災害リスク情報の充実、経済被害の軽減関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	羽越河国、置賜森管、下越森管村上、山形気象台、新潟気象台、山形県、新潟県、小国町、村上市、胎内市、関川村、荒川水力、赤芝水力、東北電力 等		
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	羽越河国		
	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成	新潟県、村上市、荒川土改		
	治水対策における多自然川づくり	羽越河国		
	治水対策における多自然川づくり	新潟県、山形県		
	荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み	羽越河国		
		小国町、村上市、関川村		
	大石ダムフラッシュ放流の試行	羽越河国		
	ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出	羽越河国、関川村、小国町、飯豊砂防		
	魅力ある水辺空間の創出	村上市		
		関川村		
	健全なる水循環系の確保	下越森管村上、森林整備センター、置賜森管、山形県、新潟県		

ロードマップ
「公共下水道雨水幹線の整備」のバーチャートを中長期の途中まで延長。

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業規模】

■河川対策	
全体事業費	約109億円
対策内容	河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化（浸透対策）、災害復旧等
■砂防対策	
全体事業費	約398億円
	飯豊山系直轄砂防事業、災害復旧等
■下水道対策	
全体事業費	約7億円

事業規模 令和4年8月対応を反映した事業規模に更新

・河川対策	約60億円	→	約109億円
・砂防対策	約350億円	→	約398億円
・下水道対策	約3億円	→	約7億円

※2:スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

資料2-1
新旧比較表

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『トミヨなど多様な生物が生息する、荒川らしい豊かな自然環境の創出』

- 荒川では、「たんぼ」(※)をはじめとする良好な自然環境を数多く有し、またH15～H17年には1級河川において水質日本一（指標BOD）となるなど、豊かな自然環境が「清流荒川」として親しまれている。（※湧水のあるワンドの地域呼称）
- 清流荒川を象徴するトミヨやカワラハハコ、ハクセキレイなどの荒川らしい生物が生息・生育できる環境を保全・再生するため、今後約10年間で、かつて数多く見られたたんぼや礫河原等の河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



■自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・たんぼの保全・再生・礫河原の再生【羽越河国】

■生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成

- ・田んぼダムによる水鳥等の採餌場、生息環境創出【新潟県・村上市・荒川土改】
- ・農業用ため池の水管理による自然環境の保全・復元【新潟県・村上市】

■治水対策における多自然川づくり

- ・たんぼの保全【羽越河国】
- ・多様な生物の生息環境の保全・創出【羽越河国】
- ・多自然川づくりの考え方に基づく災害復旧【山形県】
- ・乙大日川改修における動植物の良好な生息・生育環境の保全【新潟県】

■荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み

- ・小中学校における河川環境学習(水生生物調査等)【羽越河国】
- ・地元NPOの協力による、たんぼのモニタリング、河川清掃【羽越河国】
- ・町民参加による河川清掃【小国町】
- ・地域団体等と連携し、子供たちの自然体験や学習の場として水辺空間を活用【関川村】
- ・地域団体等と連携し、荒川やさざれ石等の自然環境を活かしたカヤック体験イベントの実施【関川村】
- ・荒川における保育園児による鮭稚魚の放流、鮭の生態学習への活用【村上市】

■大石ダムフラッシュ放流の試行

- ・ダム下流河川に生息する、アユ、カジカの生息環境を保全するためフラッシュ放流の試行を継続【羽越河国】

■ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出

- ・白い森おぐに湖(横川ダム)、おいしい湖(大石ダム)を活用した地域活性化および上下流の取り組みを推進【羽越河国】
- ・おいしい湖を活用した地域活性化イベントの開催、民間事業者と連携したカヌー体験イベントの実施【関川村】
- ・白い森おぐに湖及び荒川流路工(飯豊砂防)を活用した自然体験による地域活性化の取り組み推進【小国町】

■魅力ある水辺空間の創出

- ・神林水辺の楽校の施設更新【村上市】
- ・荒川河川敷の畑への活用による高齢者等の生きがいがづくり【関川村】

■健全なる水循環系の確保

- ・森林が有する多面的機能の発揮のための森林整備【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
- ・保安林等における荒廃地の復旧整備等の治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】



ダム湖を活用したイベント



鮭稚魚の放流



小学校の河川環境学習

荒川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

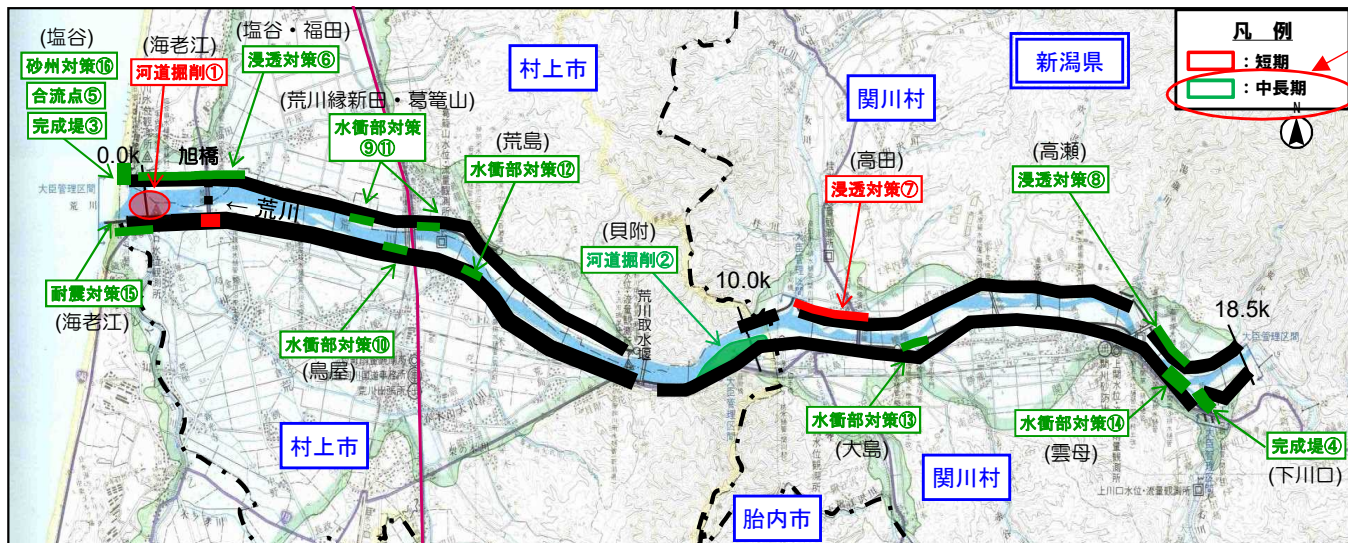
資料2-1
新旧比較表

河口部(海老江地区)の河道掘削により、戦後最大であるS42.8羽越水害と同規模の洪水において、村上市街地等の浸水被害を軽減可能(浸水面積12%減少)

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約75.7%→約80.9%

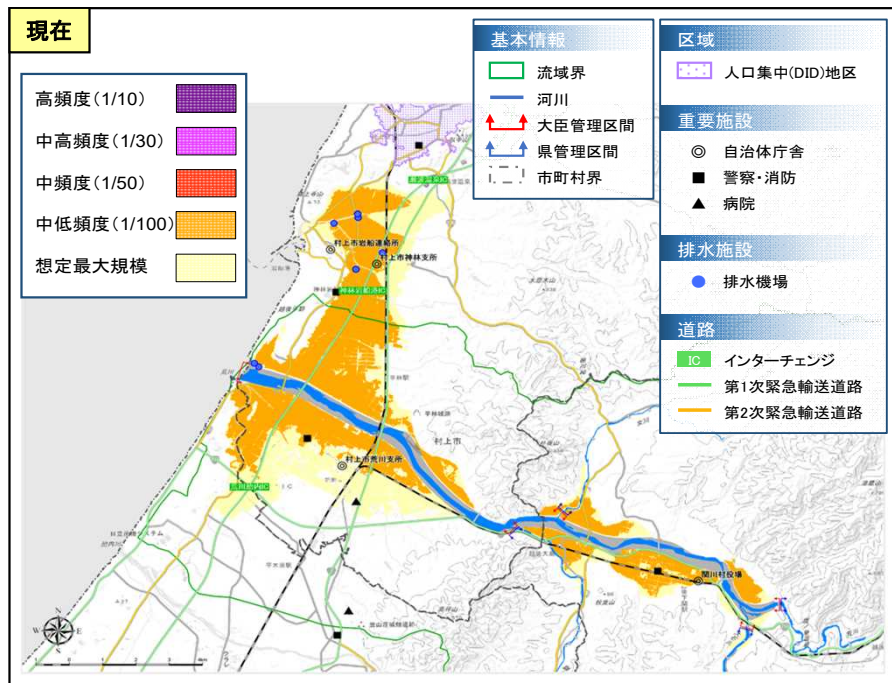
「中期」→「中長期」に修正

※上流部:11k~18.5k、中流部:8.25k~11k、下流部:0k~8.25k

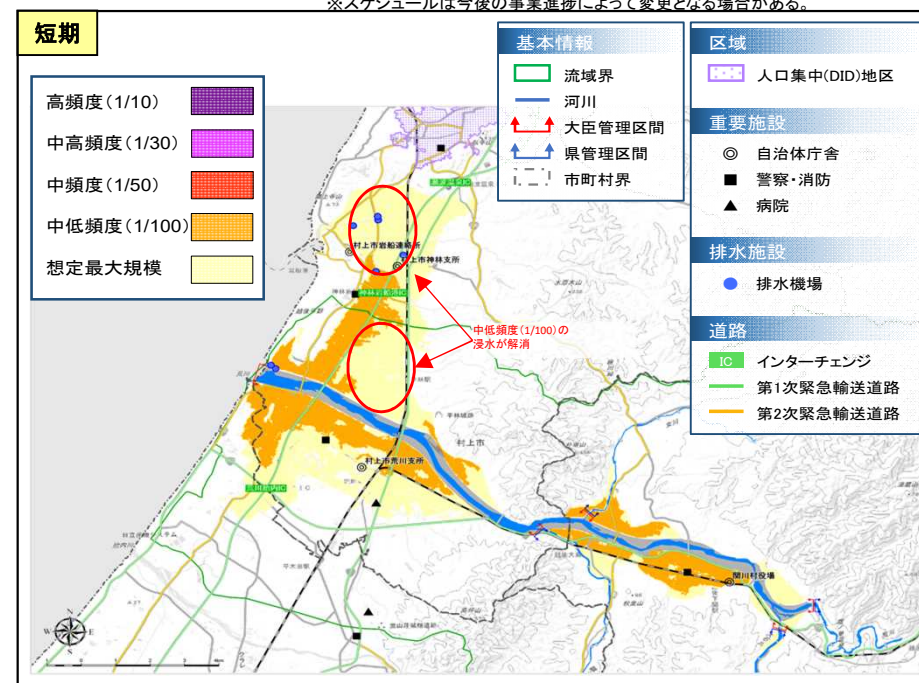


区分	対策内容	区間	R3		備考
			短期(R3~R7)	中長期(R8~R16)	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(国)	河道掘削	①地区(海老江) 下流部	92.0%	100%	海岸事業(養浜)砂利採取との連携
		②地区(貝附) 中流部		100%	
	築堤	③地区(塩谷) 下流部		100%	完成堤(暫定堤解消)
		④地区(下川口) 下流部		100%	
	合流点処理	⑤地区(塩谷) 下流部		100%	堀川合流点
	浸透対策	⑥地区(塩谷・福田) 下流部		100%	
		⑦地区(高瀬) 上流部	100%		
		⑧地区(高瀬) 上流部		100%	
	水衝部対策	⑨~⑭地区(荒川縁新田・鳥屋・葛籠山地) 上・中・下流部		100%	
	耐震対策	⑮地区(海老江) 下流部		100%	
	河口砂州対策	⑯地区(塩谷) 下流部		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

資料2-1
新旧比較表

各施策の達成状況を最新の数値に更新。(赤字)

の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率（見込）



整備率：80.9%
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



1市町村
（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



1施設
（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 4箇所
（令和4年度実施分）
砂防関連施設の
整備数 0施設
（令和4年度完成分）
※施行中 5施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域
（令和4年9月末時点） 6河川
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定区域
（令和4年9月末時点） 0団体

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画
洪水 69施設
土砂 11施設
（令和4年9月末時点）
個別避難計画 1市町村
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田んぼダムの取組



落水調整板の製作



“発祥の地”の幟旗

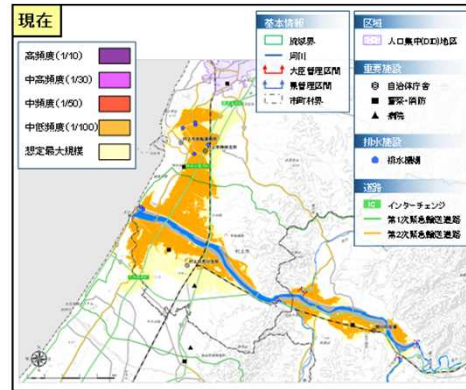


落水調整板の設置・更新

- 実施機関：新潟県、村上市、荒川土改
- 実施概要：当該地域はH14年に全国に先駆けて、田んぼダムの取組を始めた“田んぼダム発祥の地”である。
現在、約1,200haの田んぼで本取組が実施されている。（荒川土改の域内水田の約1/3で実施されている）

被害対象を減少させるための対策

水害リスクマップの作成



- 実施機関：羽越河川国道事務所
- 実施概要：降雨確率に応じた浸水範囲を重ねた浸水リスク範囲を示したものを作成し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

ハザードマップ作成周知



説明会の様子

- 実施機関：小国町
- 実施概要：L2対応のハザードマップを作成し配布を実施。配布にあたって町内10箇所で開催。

親子マイ・タイムライン教室



グループワーク



グループ発表

- 実施機関：新潟県、村上市
- 実施概要：生徒と保護者が一緒にハザードマップや避難行動などについて学び、グループワークによりマイ・タイムラインを作成

荒川水系流域治水プロジェクト【位置図】

資料2-2

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、荒川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和42年羽越水害と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化（浸透対策）等【羽越河国、新潟県、村上市】
- ・砂防関係施設の整備【飯豊砂防、新潟県】
- ・公共下水道雨水幹線の整備【村上市】
- ・既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築【羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力】
- ・田んぼダムの取組【新潟県、村上市、荒川土改】
- ・ため池の防災水管理【山形県、新潟県、村上市】
- ・森林整備対策（間伐、林道整備等）【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
- ・治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】

●被害対象を減少させるための対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【羽越河国】

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・避難体制の強化（ハザードマップ作成周知、マイタイムラインの普及促進、防災教育や防災知識の普及、要配慮者避難確保計画策定）
- ・土地の水災害リスク情報の充実（中小河川における浸水想定区域図作成）
- ・経済被害の軽減（排水計画検討等、林道整備の推進（災害時において代替路機能））
- ・関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化（災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供）

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

●令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進（別紙）

村上市

洪水氾濫対策
・普通河川滝矢川改修（護岸整備）
内水氾濫対策
・公共下水道雨水幹線の整備
流域の雨水貯留機能の向上
・田んぼダムの取組
・ため池の防災水管理

避難体制の強化
・ハザードマップ作成周知
・マイタイムラインの普及促進
・防災教育や防災知識の普及
・要配慮者避難確保計画策定 等



学校授業におけるマイタイムライン作成支援【村上市】

位置図



田んぼダムの取組【新潟県、村上市、荒川土改】
ため池の防災水管理【新潟県、村上市】

砂防関係施設の整備【飯豊砂防、新潟県】
治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】

河川砂州堤防整備
支川合流点対策【羽越河国】
河道掘削堤防強化（浸透対策）【羽越河国】
普通河川滝矢川改修（護岸整備）【村上市】
水衝部対策【羽越河国】
堤防強化（浸透対策）【羽越河国】
公共下水道雨水幹線の整備【村上市】
河道掘削【羽越河国】
水衝部対策【羽越河国】
堤防整備【羽越河国】

避難体制の強化
・ハザードマップ作成周知
・マイタイムラインの普及促進
・防災教育や防災知識の普及
・要配慮者避難確保計画策定 等



住民参加型防災訓練【胎内市】



田んぼダムの取組【荒川土改】（落水調整板の設置）

ため池の防災水管理【山形県】

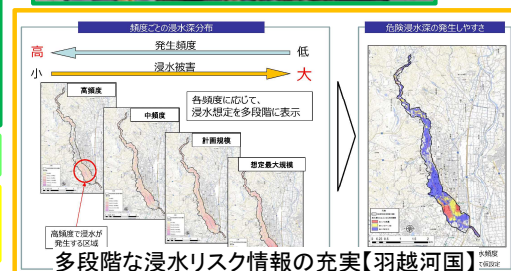
既存ダムにおける事前放流等の実施【羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力】

避難体制の強化
・ハザードマップ作成周知
・マイタイムラインの普及促進
・防災教育や防災知識の普及
・要配慮者避難確保計画策定 等

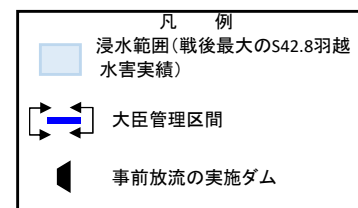
森林整備対策（間伐、林道整備等）【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】



森林の間伐



多段階な浸水リスク情報の充実【羽越河国】



※本図の浸水範囲は、大臣管理区間における荒川本川の氾濫によって生じる範囲を示しており、支川等他区間の氾濫による浸水範囲は含まれていません。

荒川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

- 荒川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、利水ダム管理者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 浸水被害が最も大きい岩船駅周辺の浸水深軽減のための河道掘削を実施。（岩船駅周辺の小中学校の被害解消）
田んぼダムの取組、雨水幹線の整備等の流域における対策、住民の防災意識向上のための取組等のソフト対策を実施。
 - 【中長期】 堤防強化対策として水衝部対策、浸透対策を実施。洪水時に流下阻害となる河口砂州対策の実施。
- 令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進。（別紙）

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程※2	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策	河道掘削	羽越河国		
	水衝部対策、堤防強化（浸透対策）			
	河口砂州、堤防整備、支川合流点対策			
	乙大日川改修（河道拡幅、堤防整備）	新潟県		
	普通河川滝矢川改修（護岸整備）	村上市		
	公共下水道雨水幹線の整備	村上市		
	砂防関係施設の整備	飯豊砂防、新潟県		
	既存ダムによる事前放流の実施	羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力		
	田んぼダムの取組	新潟県、村上市、荒川土改		
	ため池の防災水管理	山形県、新潟県、村上市		
	森林整備対策（間伐等、林道整備）	置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県		
	治山対策	置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県		
被害対象を減少させるための対策	多段階な浸水リスク情報の充実	羽越河国		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制の強化、土地の水災害リスク情報の充実、経済被害の軽減関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	羽越河国、置賜森管、下越森管村上、山形気象台、新潟気象台、山形県、新潟県、小国町、村上市、胎内市、関川村、荒川水力、赤芝水力、東北電力 等		
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	羽越河国		
	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成	新潟県、村上市、荒川土改		
	治水対策における多自然川づくり	羽越河国		
	治水対策における多自然川づくり	新潟県、山形県		
	荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み	羽越河国		
		小国町、村上市、関川村		
	大石ダムフラッシュ放流の試行	羽越河国		
	ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出	羽越河国、関川村、小国町、飯豊砂防		
	魅力ある水辺空間の創出	村上市		
		関川村		
	健全なる水循環系の確保	下越森管村上、森林整備センター、置賜森管、山形県、新潟県		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業規模】

- 河川対策
全体事業費 約109億円
対策内容 河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化（浸透対策）、災害復旧等
- 砂防対策
全体事業費 約398億円
飯豊山系直轄砂防事業、災害復旧等
- 下水道対策
全体事業費 約7億円

※2:スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

資料2-2

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『トミヨなど多様な生物が生息する、荒川らしい豊かな自然環境の創出』

- 荒川では、「たんぼ」(※)をはじめとする良好な自然環境を数多く有し、またH15～H17年には1級河川において水質日本一（指標BOD）となるなど、豊かな自然環境が「清流荒川」として親しまれている。（※湧水のあるワンドの地域呼称）
- 清流荒川を象徴するトミヨやカワラハハコ、ハクセキレイなどの荒川らしい生物が生息・生育できる環境を保全・再生するため、今後約10年間で、かつて数多く見られたたんぼや礫河原等の河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



■自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・たんぼの保全・再生・礫河原の再生【羽越河国】

■生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成

- ・田んぼダムによる水鳥等の採餌場、生息環境創出【新潟県・村上市・荒川土改】
- ・農業用ため池の水管理による自然環境の保全・復元【新潟県・村上市】

■治水対策における多自然川づくり

- ・たんぼの保全【羽越河国】
- ・多様な生物の生息環境の保全・創出【羽越河国】
- ・多自然川づくりの考え方に基づく災害復旧【山形県】
- ・乙大日川改修における動植物の良好な生息・生育環境の保全【新潟県】

■荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み

- ・小中学校における河川環境学習(水生生物調査等)【羽越河国】
- ・地元NPOの協力による、たんぼのモニタリング、河川清掃【羽越河国】
- ・町民参加による河川清掃【小国町】
- ・地域団体等と連携し、子供たちの自然体験や学習の場として水辺空間を活用【関川村】
- ・地域団体等と連携し、荒川やさざれ石等の自然環境を活かしたカヤック体験イベントの実施【関川村】
- ・荒川における保育園児による鮭稚魚の放流、鮭の生態学習への活用【村上市】

■大石ダムフラッシュ放流の試行

- ・ダム下流河川に生息する、アユ、カジカの生息環境を保全するためフラッシュ放流の試行を継続【羽越河国】

■ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出

- ・白い森おぐに湖(横川ダム)、おいしい湖(大石ダム)を活用した地域活性化および上下流の取り組みを推進【羽越河国】
- ・おいしい湖を活用した地域活性化イベントの開催、民間事業者と連携したカヌー体験イベントの実施【関川村】
- ・白い森おぐに湖及び荒川流路工(飯豊砂防)を活用した自然体験による地域活性化の取り組み推進【小国町】

■魅力ある水辺空間の創出

- ・神林水辺の楽校の施設更新【村上市】
- ・荒川河川敷の畑への活用による高齢者等の生きがいがづくり【関川村】

■健全なる水循環系の確保

- ・森林が有する多面的機能の発揮のための森林整備【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
- ・保安林等における荒廃地の復旧整備等の治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】



ダム湖を活用したイベント



鮭稚魚の放流



小学校の河川環境学習

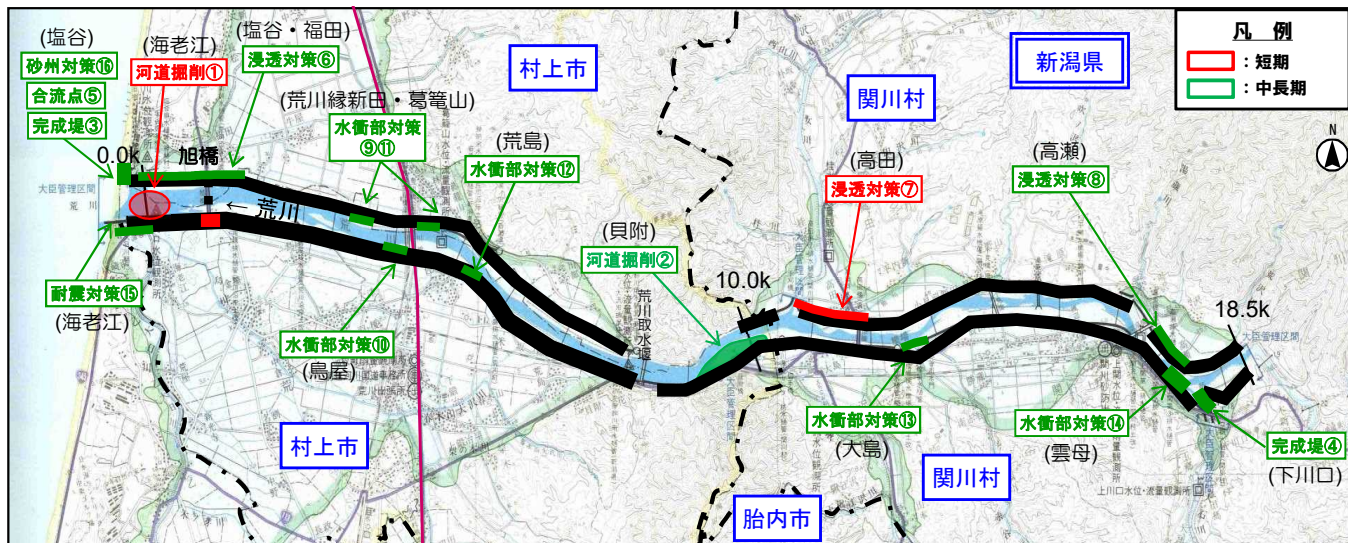
荒川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

資料2-2

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

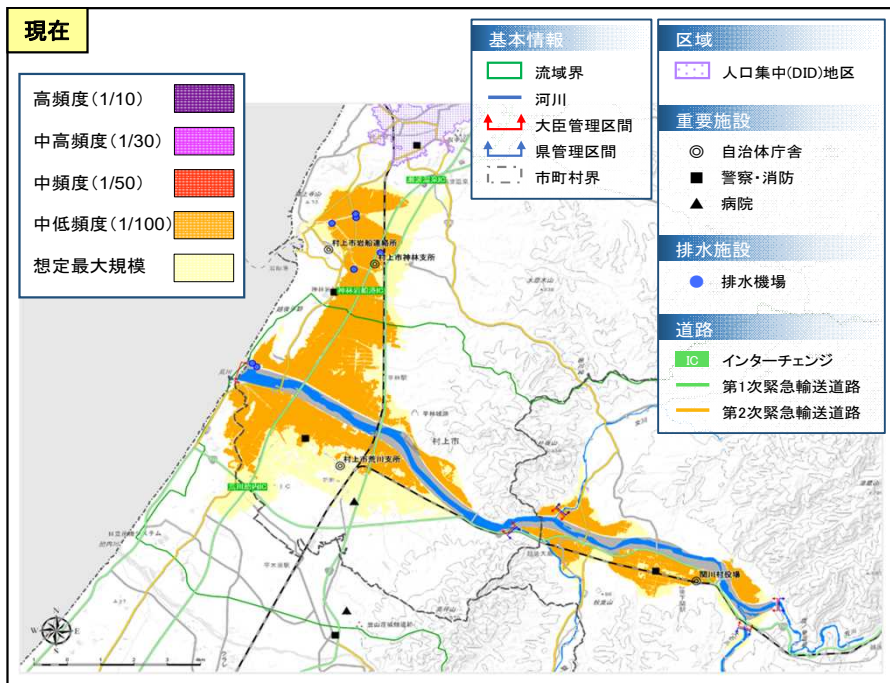
河口部(海老江地区)の河道掘削により、戦後最大であるS42.8羽越水害と同規模の洪水において、村上市街地等の浸水被害を軽減可能(浸水面積12%減少)

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約75.7%→約80.9%

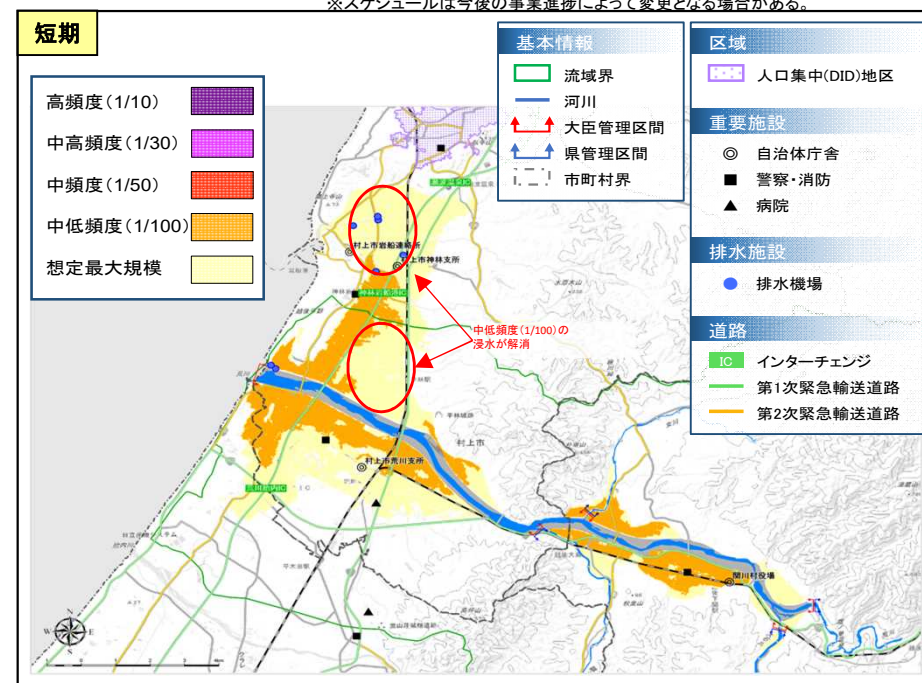


区分	対策内容	区間	R3		備考
			短期(R3～R7)	中長期(R8～R16)	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(国)	河道掘削	①地区(海老江)	92.0%	100%	海岸事業(養浜)砂利採取との連携
		②地区(貝附)		100%	
	築堤	③地区(塩谷)		100%	完成堤(暫定堤解消)
		④地区(下川口)		100%	
	合流点処理	⑤地区(塩谷)		100%	堀川合流点
	浸透対策	⑥地区(塩谷・福田)		100%	
		⑦地区(高田)	100%		
		⑧地区(高瀬)		100%	
	水衝部対策	⑨～⑭地区(荒川縁新田、鳥屋、葛籠山地)		100%	
	耐震対策	⑮地区(海老江)		100%	
	河口砂州対策	⑯地区(塩谷)		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

資料2-2

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率（見込）



整備率：80.9%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



1市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所
4箇所
（令和4年度実施分）

砂防関連施設の
整備数
0施設
（令和4年度完成分）
※施行中 5施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域
（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定区域
（令和4年9月末時点）
6河川
0団体

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画
69施設
11施設
（令和4年9月末時点）

個別避難計画
1市町村
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田んぼダムの取組



落水調整板の製作



“発祥の地”の幟旗



落水調整板の設置・更新

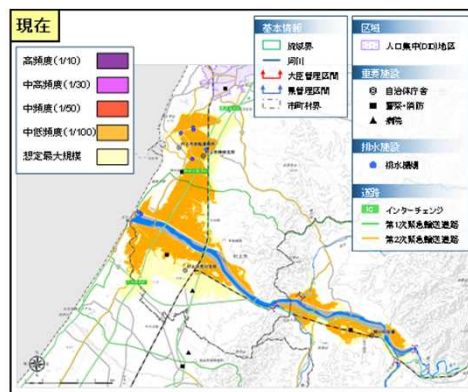
○実施機関：新潟県、村上市、荒川土改

○実施概要：当該地域はH14年に全国に先駆けて、田んぼダムの取組を始めた“田んぼダム発祥の地”である。

現在、約1,200haの田んぼで本取組が実施されている。（荒川土改の域内水田の約1/3で実施されている）

被害対象を減少させるための対策

水害リスクマップの作成



○実施機関：羽越河川国道事務所

○実施概要：降雨確率に応じた浸水範囲を重ねた浸水リスク範囲を示したものを作成し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

ハザードマップ作成周知



説明会の様子

○実施機関：小国町

○実施概要：L2対応のハザードマップを作成し配布を実施。配布にあたって町内10箇所で開催。

親子マイ・タイムライン教室



グループワーク



グループ発表

○実施機関：新潟県、村上市

○実施概要：生徒と保護者が一緒にハザードマップや避難行動などについて学び、グループワークによりマイ・タイムラインを作成

令和4年8月の大雨を踏まえた

荒川水系流域治水プロジェクト

及び

荒川水系緊急治水対策プロジェクト
(烏川・春木山大沢川)

令和4年12月26日

荒川（下流域・上流域）流域治水協議会

【令和4年8月の大雨を踏まえた今後の対策検討】

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進

資料2-3
参考資料

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた流域治水対策の推進～

- 令和4年8月豪雨を踏まえ、荒川水系において被災した施設の復旧を速やかに実施する。
- あわせて、国、県、市町村等の流域のあらゆる関係者が連携し「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」に取り組み、村上市による河川改修の前倒し及びタイムラインの取り組み強化等を追加し、令和4年8月と同規模の洪水に対し浸水被害の軽減を図るための流域治水プロジェクトをより強力に推進する。
- なかでも、特に甚大な被害が発生した村上市坂町地区において支川の烏川、春木山大沢川の溢水等による浸水被害軽減に向けた取り組みを『**緊急治水対策プロジェクト**』として実施する。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 河川における対策

- ・ 災害復旧（河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等）【新潟県】
- ・ 災害復旧（河川）【国交省・新潟県・山形県・小国町】
- ・ 河川改修【村上市】
- ・ 高田排水樋管改良等【国交省】
- ・ 河道掘削等【国交省、新潟県、山形県】

○ 集水域における対策

- ・ 雨水幹線の整備・検討【村上市】
- ・ 田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】
- ・ 災害復旧（砂防・治山）【林野庁・新潟県】
- ・ 砂防設備の除石、流木撤去【国交省・新潟県】
- ・ 砂防設備の整備【国交省・新潟県】

■ 被害対象を減少させるための対策

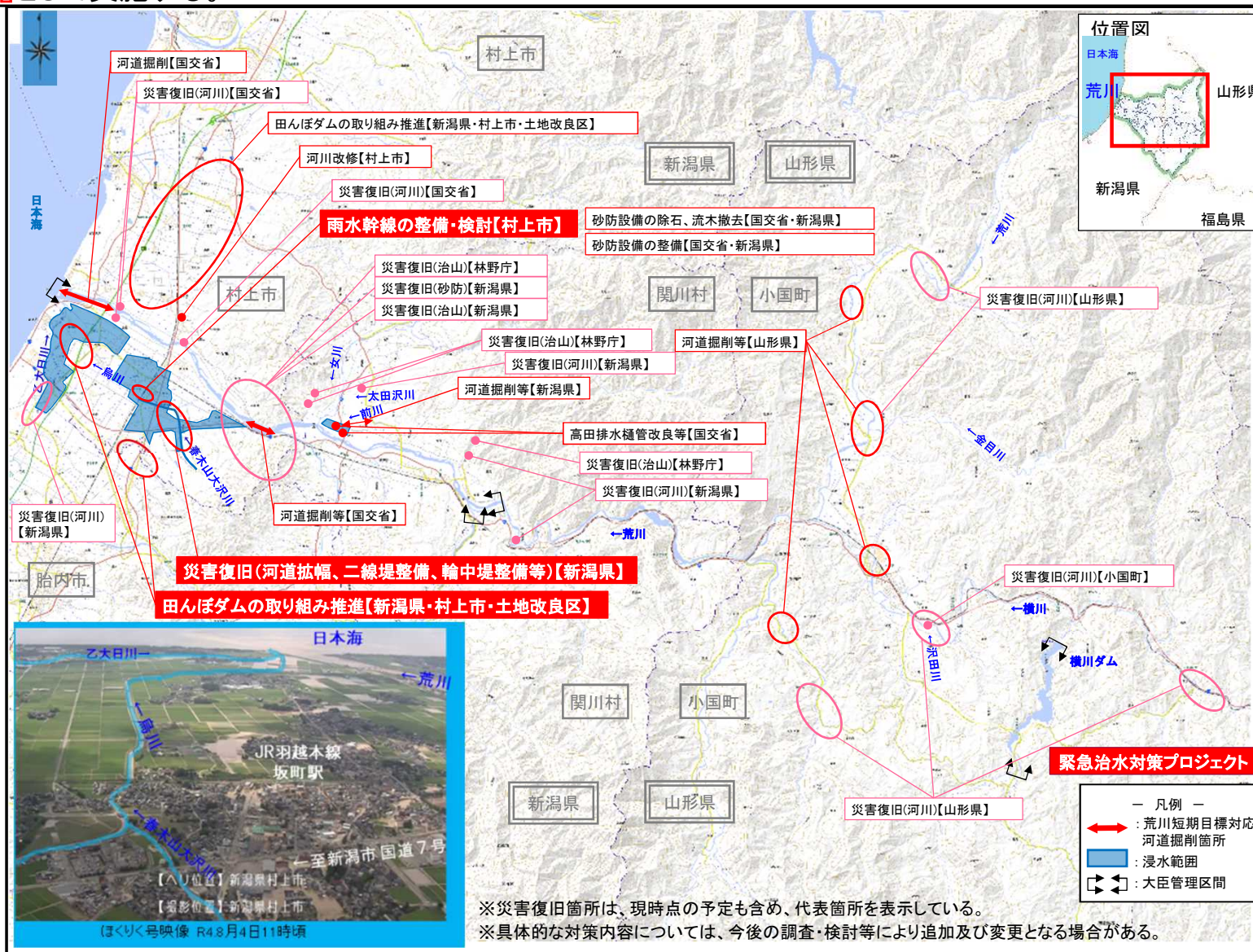
○ 氾濫域における対策

- ・ 多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】
- ・ 雨水排水計画の検討【村上市】
- ・ リスクが高い区域における土地利用規制（災害危険区域等）【新潟県・村上市】

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 氾濫域における対策

- ・ 流域タイムラインの運用開始【国交省・新潟県・村上市・胎内市・関川村・新潟地方气象台】
- ・ 河川監視カメラの設置【山形県】
- ・ コミュニティタイムラインの策定【関川村】
- ・ 総合防災訓練の実施【村上市・関川村・小国町】
- ・ 水害リスク空白域の解消【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町】
- ・ 雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成【村上市】
- ・ 気象情報の充実、予測精度の向上【新潟地方气象台】



令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進

資料2-3
参考資料

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた流域治水対策の推進～

令和4年8月豪雨を踏まえ、国、県、市町村等が連携し、浸水被害及び土砂災害軽減のための対策を連携して実施する。

- ◎ 令和4年8月の豪雨により村上市坂町地区において支川の烏川、春木山大沢川の溢水等により特に甚大な被害が発生したことを踏まえて、二線堤整備・輪中堤整備等や雨水幹線の整備・検討を重点化・加速化して実施。さらに田んぼダムの取り組み推進や浸水リスクを踏まえた土地利用規制等の取り組みとあわせて『**緊急治水対策プロジェクト**』として実施する。
- ✓ 荒川及び支川において、被災施設の災害復旧工事（河川、砂防、治山）及び砂防設備の除石、流木撤去を速やかに実施する。
- ✓ 関川村高田地区において、国交省による高田排水樋管のフラップゲート化の改良等及び新潟県による河道掘削等を実施し、確実かつ迅速な内水対応を図る。
- ✓ 荒川及び支川において、国交省・山形県による河道掘削等及び村上市による河川改修を推進し、洪水時の水位低下や流下能力の向上を図る。
- ✓ 新潟県・村上市・土地改良区による田んぼダムの取り組み等、集水域における内水被害軽減及び流出抑制のための対策を推進する。
- ✓ 国交省・新潟県による砂防設備の整備を推進し土砂災害の軽減を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容・実施主体	工程(R4～R8)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅・国道7号橋架替【新潟県】 緊急治水対策プロジェクト	下流区間
	災害復旧（河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等）【新潟県】	上流区間
	雨水幹線の整備・検討【村上市】	R8烏川1-3号雨水幹線完了
	田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】	
	災害復旧（河川、砂防、治山）【林野庁・国交省・新潟県・山形県・小国町】	
	河川改修【村上市】	
	高田排水樋管改良等【国交省】	
	河道掘削等【国交省、新潟県、山形県】	
	砂防設備の除石、流木撤去【国交省・新潟県】	
	砂防設備の整備【国交省・新潟県】	
被害対象を減少させるための対策	【国交省・新潟県・村上市】 緊急治水対策プロジェクト	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【国交省・新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町・新潟地方気象台】	R5 流域タイムライン運用開始
流域治水関連法の活用を検討	流域治水関連法の活用検討	

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

荒川水系緊急治水対策プロジェクト(烏川・春木山大沢川)

令和4年度～令和8年度

資料2-3
参考資料

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた流域治水対策を推進～

○荒川流域では、国・新潟県・市町村等が連携して「荒川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月の豪雨により、特に支川の烏川・春木山大沢川の溢水等により、甚大な被害が発生したことを踏まえて、以下の対策を実施する。

- ・県では、烏川・春木山大沢川において河道拡幅や二線堤・輪中堤整備等を実施し、河川の氾濫による家屋浸水被害を防止する。
- ・市では、雨水幹線整備を重点化・加速化して実施し、被害の軽減を図る。

○更に、田んぼダム取り組みの推進とともに、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

■事業期間 令和4年度～令和8年度

■事業費 約92億円【県:約92億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川における対策

- ・災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】

○集水域における対策

- ・雨水幹線の整備・検討【村上市】
- ・田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域における対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】
- ・雨水排水計画の検討【村上市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制(災害危険区域等)【新潟県・村上市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域における対策

- ・流域タイムラインの運用開始【国交省・新潟県・村上市・新潟地方気象台】
- ・総合防災訓練の実施【村上市】
- ・水害リスク空白域の解消【新潟県・村上市】
- ・雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成【村上市】
- ・気象情報の充実、予測精度の向上【新潟地方気象台】



【ロードマップ】

区分	対策内容・実施主体	工程(R4～R8)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅・国道7号橋架替【新潟県】	下流区間
	災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】	上流区間
	雨水幹線の整備・検討【村上市】	R6 烏川1-3号雨水幹線完了
	田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】	
被害対象を減少させるための対策	【国交省・新潟県・村上市】	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【新潟県・村上市】	R5 流域タイムライン運用開始
流域治水関連法の活用を検討	流域治水関連法の活用検討	

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 河川における対策【国交省、新潟県、山形県、村上市、小国町】

- 令和4年8月豪雨により荒川及び支川において、被災した堤防、護岸等の河川管理施設の災害復旧を速やかに実施する。
- 令和4年8月豪雨で浸水被害が発生した関川村高田地区について、国交省による高田排水樋管のフラップゲート化の改良等及び新潟県による河道掘削等を実施し、確実かつ迅速な内水対応を図る。
- 令和4年8月豪雨を踏まえ、荒川及び支川において、国交省・山形県による河道掘削等を推進し、洪水時の水位低下や流下能力の向上を図る。
- 村上市において、普通河川滝矢川の改修を推進し、早期に浸水被害の軽減を図る。



令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 高田地区における対策【国交省、新潟県】

一級河川前川

■ 河道掘削等【新潟県】

荒川本川への速やかな排水のため、河川の土砂掘削や樹木伐採を実施



■ 河川測量の実施【新潟県】

治水対策検討のため河川測量を実施

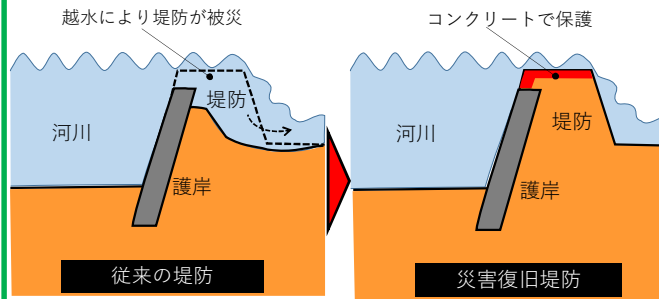


前川の治水対策については、引き続き県・国・村で連携し検討を進め、令和4年度末を目途にとりまとめる。

一級河川太田沢川

■ 災害復旧(河川)【新潟県】

越水による被災を踏まえ、堤防天端をコンクリートで保護することで堤防を強化する。



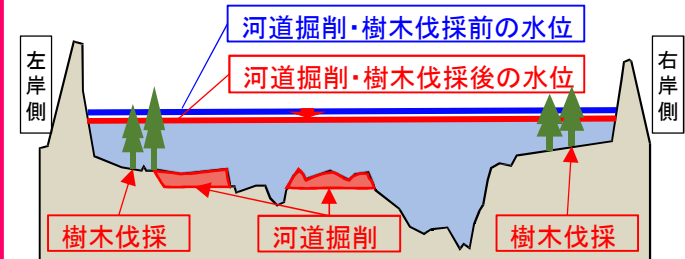
太田沢川の復旧イメージ

一級河川荒川

■ 河道掘削等【国交省】

河川内の土砂掘削及び樹木伐採により、河川の流下する断面を拡大することで、荒川の洪水時の水位を低下させ、沿川地域での内水被害軽減に寄与する。

河道掘削・樹木伐採のイメージ



■ 高田排水樋管改良等【国交省】

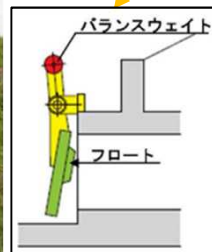
高田排水樋管のフラップゲート化

樋管ゲートのフラップ化によりゲート開閉が自動化され、樋管操作の軽減を図ると共に、洪水時の急激な水位上昇に対し確実な樋管操作を行う。



フラップゲート化イメージ

河川水位の上昇に伴い水圧によりゲートが閉じ、堤内地への逆流を防ぐ



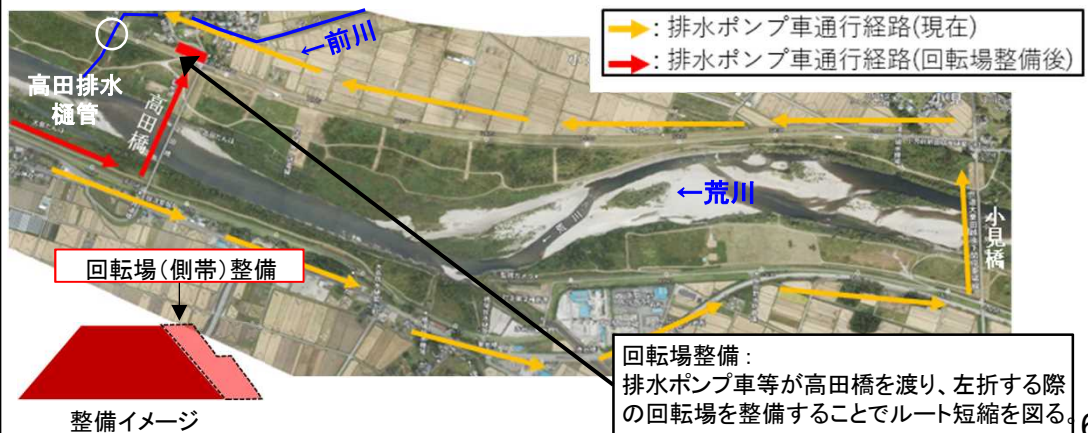
構造イメージ



施工例

排水ポンプ車等の災害対策車両 回転場(側帯)の整備

回転場の整備により、洪水時の排水ポンプ車等の迅速な配備が可能となり、速やかに内水排水活動に着手する。



整備イメージ

回転場整備：
排水ポンプ車等が高田橋を渡り、左折する際の回転場を整備することでルート短縮を図る。

令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進
～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 田んぼダム【新潟県、村上市、土地改良区】

資料2-3
参考資料

- 浸水被害が発生した地域では田んぼダムの取り組みを推進し、水田貯留による河川への流出抑制に寄与。



令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～ 集水域における対策（災害復旧・災害関連（砂防・治山）・砂防設備除石等）【国交省、林野庁、新潟県】

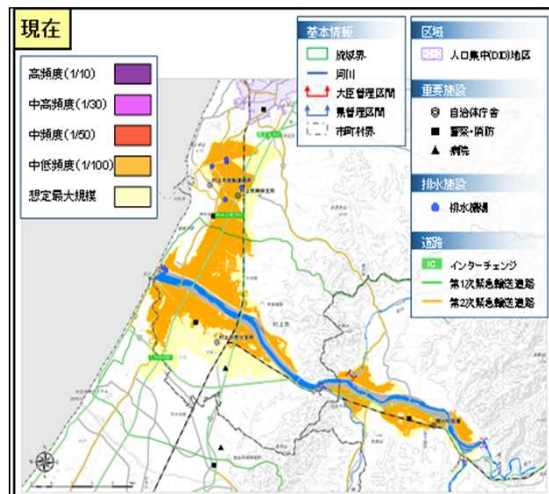
- 令和4年8月の大雨により被災した砂防、治山関係施設の嵩上げ等の災害復旧・災害関連や砂防堰堤の異常堆積土砂、流木の撤去等を速やかに実施する。



■多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】 ～水害リスクマップの作成～

降雨確率に応じて浸水範囲を重ね、浸水リスク範囲を示したものを作成し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進する。

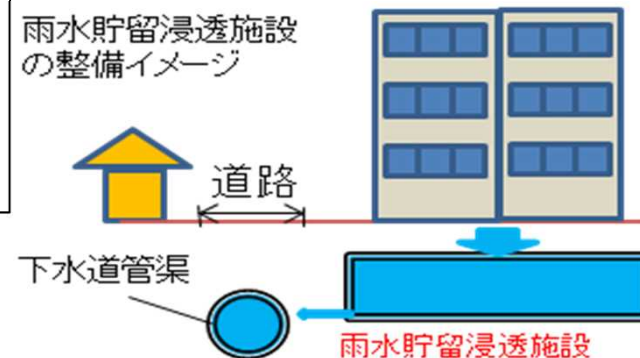
水害リスクマップのイメージ



■雨水管理総合計画の策定【村上市】

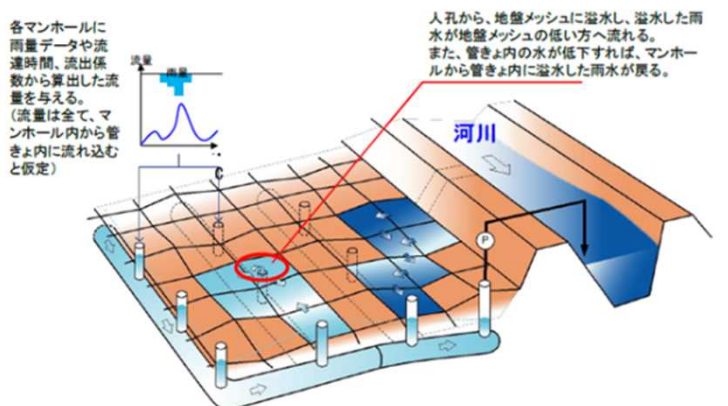
○浸水リスク評価に基づき、整備目標となる計画降雨を設定。

○雨水幹線および雨水貯留浸透施設を含めた施設の追加整備の必要性を検討。



■浸水シミュレーションによる浸水リスク評価の実施【村上市】

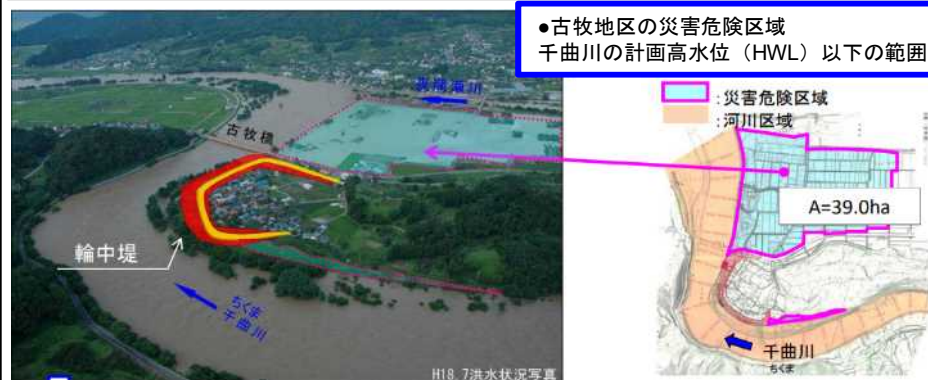
想定最大規模降雨に対する浸水シミュレーションにより地区ごとの浸水リスクを評価。



「流出解析モデル活用マニュアル、2017年3月、(公財)日本下水道新技術機構」

■リスクが高い区域における土地利用規制【新潟県・村上市】

水害リスクの高い地域の開発を抑制することで浸水発生時の被害対象を減少させるための区域指定(災害危険区域等)を検討する。



〈長野県中野市古牧地区(千曲川)での事例〉

■流域タイムラインの運用開始

【国交省・新潟県・村上市・胎内市・関川村・新潟地方気象台】

災害時に迅速な連携が必要となる国、県、自治体が災害発生前に取るべき防災行動をあらかじめ共有することで、災害対応能力の向上を図る。



防災行動を共有する際の流域タイムラインのイメージ

■コミュニティタイムラインの策定【関川村】



関川村高田地区周辺の浸水被害状況

8月の浸水被害を踏まえ高田地区の排水樋管操作、排水活動、住民広報、避難行動などの一連の行動に関するタイムラインを作成。

■総合防災訓練の実施

【村上市・関川村・小国町】

8月の大雨を踏まえ、洪水時における住民の迅速かつ確かな避難行動手順や被害最小化を図るための総合防災訓練を実施。



防災訓練実施状況

■河川監視カメラの設置【山形県】

洪水時の河川状況の把握や水害リスクの周知等を目的とした簡易型河川監視カメラを増強。

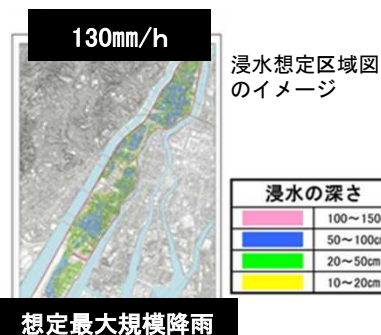


簡易型河川監視カメラのイメージ

■雨水出水浸水想定区域図および内水ハザードマップの作成【村上市】

想定最大規模降雨によるシミュレーション結果により、雨水出水浸水想定区域図を作成し、水災害に強い防災まちづくりを推進。

内水リスク情報を住民等に的確に伝達し、適切な避難行動を促進することを目的に、内水氾濫の危険度を周知するため、内水ハザードマップを作成。



想定最大規模降雨

■水害リスク空白域の解消【新潟県・山形県・村上市・胎内市・関川村・小国町】

県・市町村において、水害リスク情報の提供を行っていない空白域での浸水想定区域図及びハザードマップを作成・公表。



指定対象河川の拡大イメージ

■気象情報の充実、予報精度の向上【新潟地方気象台】

線状降水帯の予測精度向上を前倒しで推進し、予測精度向上を踏まえた情報の提供を早期に実現するため、水蒸気観測等の強化、気象庁スーパーコンピュータの強化や「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進める。

